

## 平成24年度 ふれあい意見箱意見及び要望などの検討結果

意見要望等内容	検討結果	施策・事業への反映予定	所管課
<p>今や、老人は日常の食料品を遠くまで買いに行きます。近くに青果(八百屋)を見たことがありますか。数人の議員に話したことがあります。返答がありません。また、道路も道路平行のつぎ足しに大きな穴があったり、側溝の平行取つぎに大変危険なところがあったりします。老人が自転車で買い物に行く時、一番気になります。</p>	<p>20年前に比べると、笠松町内に八百屋は少なくなりましたが、現在もいくつかの八百屋と松枝・下羽栗地域には大型スーパーもあります。笠松町内には、公共施設巡回町民バスが1時間に1本(平日)走っていますので、買い物の際はぜひご利用ください。</p> <p>道路や側溝については、建設課職員で随時道路パトロールを行い、道路の穴、側溝の蓋などの破損箇所を把握し対応をしています。また、役場職員にも町内へ出かけた際に、破損箇所などを発見した場合は速やかに建設課に連絡するよう呼びかけていますが、発見できない箇所もあるのが現状です。道路での破損箇所などに気づいた点がありましたら、建設課までご連絡ください。</p>	<p>引き続き、道路パトロールを行い、危険箇所などの早期対応に努めます。</p>	<p>企画課 建設課</p>
<p>下羽栗小学校や下羽栗保育所の行事時に、総合会館の駐車場を一切貸してくれません。総合会館の駐車場を下羽栗地域の人にもっと開放していただきたい。</p>	<p>総合会館の駐車場は、基本的には当館を利用される方のために設けられている駐車場です。</p> <p>小学校・保育所の各種行事の際に、事前に連絡を受けた場合には、当館の貸出状況を見ながら利用者に迷惑が掛からない範囲内で、駐車場を利用していただくなどの対応をしています。</p> <p>また、小学校や保育所では、それぞれが十分に対応できる駐車場を備えていないことから、各種行事開催の案内には、保護者の方にはできるだけ徒歩または自転車、車の相乗りなどの利用を広く呼び掛けているのが実情です。</p> <p>今後、関係者と協議し、少しでも改善できるよう努力していきます。</p>	<p>関係団体(小学校・保育所)の理解と協力を求めます。</p>	<p>総合会館</p>
<p>どこに何の習い事などがあるのか、詳細に書かれたものがあると助かります。ぜひ、少しでもいいので、書き出してくれるとわかりやすいです。</p>	<p>生涯学習講座・シニアカレッジ・ワンデーレッスンなどの公民館講座は、年度当初に町広報紙折込みでの配付やホームページで募集の紹介をしています。文化団体サークルやスポーツ団体サークルは、ホームページでサークルの紹介をしています。また、広報紙のサークルコーナー「なかま」でもメンバー募集PR紹介をしています。さらに、中央公民館1階の通路には、サークル掲示コーナーを設置することによる、ポスターで常時募集などのお知らせをしています。</p> <p>なお、個人で開かれている教室などは、すべて町では把握していませんが、町への登録団体で、ご紹介可能なサークルなどもありますので、教育文化課へご相談、お問い合わせください。</p>	<p style="text-align: center;">-</p>	<p>教育文化課</p>

意見要望等内容	検討結果	施策・事業への反映予定	所管課
<p>岐阜市、岐南町、羽島市は太陽光発電の補助金が出ているが、笠松町は出していない。新築住宅の多くが太陽光発電装置をつけるようになり、補助金を出さない笠松町は、定住促進をまじめに取り組んでいるとは思えない。早急に実施していただきたい。</p>	<p>太陽光発電補助制度は、地球温暖化対策の一環として、他のエネルギー技術促進・導入と併せて調査研究してきましたが、本町は隣接する岐南町同様、制度化していません。</p> <p>今年7月「再生エネルギーの固定価格買取制度」の導入により、太陽光発電設備設置している家庭は、電気料金1kwh当たり42円で売電が可能となりましたが、それに伴い本買取コストを「太陽光発電促進付加金」として全家庭にも一律負担していただくことにもなりました。立地条件等により設置したくても出来ない家庭は、補助金の交付が受けられず、さらに技術革新による太陽光パネルの低価格化、それに伴う初期投資分の回収期間の短縮化が進んでいる等の理由により、補助金を打ち切る市町村が全国的に増えてきています。</p> <p>以上のことから、町では引き続き他のエネルギー技術促進・導入事業とも合わせて調査・研究を継続しますが、現状においては補助金交付制度を設ける予定はありません。</p> <p>なお、定住促進助成金は、住宅の新築または購入された方を対象としており、太陽光発電補助金はそれらの方のみが対象ではないことから、他市町村との差別化を図り、定住人口増加を目的とした定住促進事業との関連性は薄いと思われます。</p>	<p>—</p>	<p>環境経済課</p>
<p>児童館の遊戯室には冷房がありません。行事などで訪れたとき、大変暑くて、子どもの体調が心配になりました。高温・多湿の環境で、熱中症の心配もあるので、冷房設備を充実させてください。</p>	<p>児童館の遊戯室は、運動する場所でもあることから、冷房設備の設置はなく、網戸を設置し窓を全開にし、扇風機で対応しています。特に夏季は、窓を全開にし、利用者にこまめに水分補給を行うよう声をかけたり、冷房設備のある部屋で休息を取りながら遊戯室での遊びをお願いしていますが、来館者のみなさんに熱中症などの心配がなく、安心して利用できるよう、遊戯室の冷房設備の充実を検討していきます。</p>	<p>冷房設備の設置を検討していきます。</p>	<p>児童館</p>
<p>東宮町の盛泉寺東の交差点で、道路上の止まれ表示を無視する人が多く、とても危険です。もう少し、止まれ表示がわかるようにした方が、事故にならないと思う。</p>	<p>止まれ表示については警察が設置・管理しており、町としては交差点として視認しやすいように、区画線(クロスマーク、外側線、破線)を設置しています。経年摩耗により消えかかっている箇所については、計画的に補修していく考えでおります。</p>	<p>今後も警察と協議し、事故防止対策を図っていきます。</p>	<p>建設課</p>

意見要望等内容	検討結果	施策・事業への反映予定	所管課
<p>上本町の交差点は事故が多いので、事故防止対策として次5つを提案します。</p> <p>①カーブミラーの位置の再検討(費用0)。</p> <p>②道路上の白線が消えかかっているのを修復する。</p> <p>③東から西へ行く車のスピード減速が最も重要であるため、横断歩道のところにLEDランプを多数点滅させる。</p> <p>④横断歩道の手前に徐行の文字を新しく入れる。</p> <p>⑤だるまや薬局に車が突っ込むことが多いので、突込防止柵を作っていただきたい。</p>	<p>①現在の位置にカーブミラーを設置した経緯をふまえ、再度検討します。</p> <p>②先月同要望があったので、県(道路管理者)に要望し、修復作業を実施完了しています。</p> <p>③県(道路管理者)へ要望します。</p> <p>④先月同要望があったので、羽島警察署に確認したところ、「徐行」の文字は設置できないとのことです。</p> <p>⑤町にて突込防止柵の設置はできないが、引き続き、警察・県(道路管理者)と協力しながら事故防止対策を図っていきます。</p>	<p>今後も警察・県(道路管理者)と協議し、事故防止対策を図っていきます。</p>	<p>建設課</p>
<p>放課後児童クラブの夏休みだけでも小学4年生以上も利用できるようにしてください。女性でも働きやすい笠松にしてください。</p>	<p>放課後児童クラブは、現在、小学校1年から3年生までの留守家庭児童を対象に、国や県が示す要綱やガイドラインに沿って運営しています。受け入れ可能な施設や指導員の体制などを考えると、現段階では小学4年生以上の児童の受け入れは非常に困難です。</p> <p>お子さんが安心して過ごせる場として、児童館(月曜日を除いた午前8時30分から午後5時まで)、中央公民館・松枝公民館・総合会館(午前9時から午後4時30分まで)では図書室も開設していますので、ご利用ください。なお、このほか他の市町を含み利用可能な事業の情報もありますので、個別に子育て支援センターへご相談、お問合せください。</p>	<p>事業の拡大の可能性を検討していきます。</p>	<p>子育て支援センター</p>
<p>議会の傍聴者にも議案などを配布してほしい。</p>	<p>「開かれた議会」を目指す改革の一環として、議会運営委員会や議会改革特別委員会(第2回定例会で設置予定)で検討し、議員の意見を集約します。</p>	<p>—</p>	<p>議会事務局</p>
<p>毎月色々な子どもと親子でのイベント(子育てサロンや児童館での行事など)がありますが、すべて平日に開催され、仕事をしているお母さんは参加できません。仕事をしているからこそ、地域の他のママと交流したり、親子で参加したりしたいのですが、なかなか仕事も休めません。土日の企画も検討してほしいです。</p>	<p>児童館は土・日曜日にも開館しており、親子で参加できる行事(おりがみで遊ぼう・ぬりえなど)を土・日曜日にも実施しています。今後も、児童館において、土・日曜日開催の行事の充実を図るとともに、子育て支援センターにおいては土曜日の行事の開催を検討していきます。また、広報・ホームページ・無線などでの周知に努めます。</p>	<p>児童館において、土・日曜日開催の行事の充実を図るとともに、子育て支援センターにおいては土曜日の行事の開催を検討していきます。また、広報・ホームページ・無線などでの周知に努めます。</p>	<p>子育て支援センター</p>